

## 平成28年度草の根・人間の安全保障無償資金協力 バタンバン州バベル郡ベン・スノウル小学校校舎建設計画 完成式典

2017年12月12日（火）平成28年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「バタンバン州バベル郡ベン・スノウル小学校校舎建設計画」（供与額限度額：81,818米ドル）により建設された新校舎の完成式典が開催されました。在カンボジア日本国大使館から松本二等書記官が、バタンバン州からソウ・アラファッ副知事が出席しました。また、在籍児童、学校支援委員会、地域住民など約400名が参列しました。

本プロジェクトは、ベン・スノウル小学校に1棟6室コンクリート校舎及び1棟4室トイレを建設し、併せて机・椅子等の学習用備品を整備するもので、周辺地域の子どもたちが安心して授業を受けられるよう、2016年11月に贈与契約が結ばれ、2017年6月23日に工事が完了し、この度完成式典を開催する運びとなりました。

式典では、まず司会者が来賓を紹介した後、児童代表のスピーチがありました。その後、松本書記官が「日本政府は、草の根・人間の安全保障無償資金協力のスキームで、

教育分野においては学校の校舎建設を中心にカンボジア



参列者集合写真

を継続的に支援している。この支援により、この学校に通う子どもたちが安全で快適な環境で勉強できるようになって嬉しい。この建物が日本とカンボジアの友情のシンボルであり続けることを望む。」と述べました。続いて、ソウ・アラファッ副知事が「草の根無償資金協力の援助を通して、この地に新しい校舎が建設されたことはとても喜ばしい。カンボジアにおいて支援を継続している日本国民及び日本政府への感謝の意を表す。」と述べました。スピーチの後、リボンカットが行われ、校舎内を見学して式典は終了しました。



松本書記官のスピーチ



完成した新校舎

2017年12月12日(火)

平成28年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力

「バットンバン州バベル郡ベン・スノウル小学校校舎建設計画」完成式典  
在カンボジア日本国大使館 松本泉 二等書記官スピーチ

- 敬虔なる僧侶の皆様、
- バットンバン州副知事 ソウ・アラファッ様
- ご列席の皆様

本日は、ソウ・アラファッ副知事、その他多くの関係者のご列席の下、ベン・スノウル小学校の新たな校舎の完成を皆さんとお祝いできますことを大変嬉しく思います。

在カンボジア日本国大使館を代表し、一言ごあいさつ申し上げます。

カンボジアの将来のためには、子どもたちへの教育が重要です。日本政府は、この「草の根」事業をはじめとした様々な方法でカンボジアの教育を支援しています。

この事業は、「草の根」による学校建設のプロジェクトです。バットンバン州では9校目の学校建設です。

このプロジェクトでは、日本政府は6教室の校舎や4室のトイレ・水タンクそして机・椅子などの学習用備品を供与しました。この学校に通う230名以上の児童に安心して使っていただけることを、嬉しく思います。

日本政府としては、これらがしっかりと維持管理され、カンボジアと日本の友情の絆として、長期間使われることを望みます。

最後に、本プロジェクトの実施に関わってこられたバットンバン州教育当局ほか全ての方々へ改めて御礼を申し上げます。また、カンボジアと日本人々の友好関係がより一層深まることを心から祈念いたします。

ありがとうございました。